

## 尾州有楽流 免状・資格について（修道階梯案内）

各階級に応じた実技と筆記の試験に合格することで認定されます。

尾州有楽流で定める段級・資格と、その階梯ごとに修得を求められる内容は、以下の通りです。 ※ここでは級位・段位のうち「段位」を紹介し、「段位」の後で講師・教授などの「資格」について紹介しています。

各階級に応じた実技と筆記の試験に合格することで認定されます。

なお、茶道流派の大部分では、尾州有楽流でいう中伝以上の点前は「相伝物」の秘伝の点前として位置づけられ、所定の許状を得た者でないとその点前を見ることすらも許されていませんが、尾州有楽流では古来より点前を秘伝化していませんので、所定の免状を得ていなくても上位の点前を見るのが可能ですし、必要に応じて稽古をすることも可能です。

### ◆初伝

○初級・中級・上級

### ◆中伝

○初段（中伝の一）

- \* 炭手前（炉・風炉：平手前）
- \* 濃茶点前（炉・風炉：茶碗飾り・袋茶碗・拝領茶杓や筒の扱い・台子）
- \* 薄茶点前（炉：逆勝手・逆勝手向切・逆勝手向切・違い点・逆勝手隅炉）
- \* 幾つかの名物（名品）の実見
- \* 炉・風炉の炭や灰の取り扱い
- \* 茶花の基礎的な入れ方（指定の花材・花入で）

○二段（中伝の二）

- \* 炭手前（炉風炉：長板・各種棚・台目など）
- \* 濃茶点前（茶通箱の炉・風炉、逆勝手の炉・風炉の点前）
- \* 茶道具（掛物・茶碗等焼物類・茶杓等竹類・釜等金属類）の専門的な知識と扱い
- \* 多くの名物（名品）の実見

○三段（中伝の三）

- \* 炉・風炉の灰

- \* 炭手前（炉・風炉：台子）
- \* 濃茶点前（炉・風炉：唐物）
- \* 茶道具（掛物・茶碗等焼物類・茶杓等竹類・釜等金属類）の基礎的な鑑別と取り合わせ
- \* 上菓子・懐石の専門的な知識と取り合わせ
- \* 多数の名物（名品）の実見
- \* 茶事の開催

## ◆奥伝

### ○四段（奥伝の一）

- \* 濃茶点前（炉・風炉：台天目（かつ上記の各種点前座飾りと併用で））
- \* 茶花の専門的な知識と入れ方（自由選択の花材・花入で）
- \* 茶道具（掛物・茶碗等焼物類・茶杓等竹類・釜等金属類）の専門的な鑑別と取り合わせ
- \* 及第に達する茶事の開催

### ○五段（奥伝の二）

- \* 濃茶点前（炉・風炉：盆点（かつ上記の各種点前座飾りと併用で））
- \* 指定の道具による茶会の開催・運営（席主が務められる）

### ○六段（奥伝の三）

- \* 濃茶点前（炉・風炉：盆点台天目（かつ上記の各種点前座飾りと併用で））
- \* 自身の選別・取り合わせにより茶会を開催・運営し、及第に達すること

## ◆皆伝

### ○七段（皆伝の一）

- \* 炭手前（炉・風炉：大円盆・草台子・草長板）
- \* 濃茶点前（炉・風炉：大円盆・草台子・草長板）
- \* 茶事・茶会の経験数とその内容による

### ○八段（皆伝の二）

- \* 炭手前（炉・風炉：行台子・行長板）
- \* 濃茶点前（炉・風炉：行台子・行長板）

\* 茶事・茶会の経験数とその内容による

○九段（皆伝の三）

- \* 炭手前（炉・風炉：真台子・真長板）
- \* 濃茶点前（炉・風炉：真台子・真長板）
- \* 茶事・茶会の経験数とその内容による

◆極伝

○濃茶点前（大秘伝の点前）

※織田有楽が千利休から真台子の直伝を受けた後で、真台子の更に奥義の大秘伝として伝授された点前。尾州有楽流ではこの点前だけが厳秘の点前として非公開。

**【尾州有楽流の資格】**

○講師：中伝の三を及第した者（三段を認定、奥伝に進んだ段階）

○准教授：奥伝の二を及第した者（五段を認定、奥伝の三に進んだ段階）

○教授：皆伝の一を及第した者（七段を認定、皆伝の二に進んだ段階）